

1. セッション名

OS08 宇宙の人文・社会科学研究の展望 -地球/月圏での人間社会の構築を目指して-

2. オーガナイザ氏名、所属

代表	氏名	所属
	柳川 孝二	JAXA 社友

3. 概要

「JSASS 宇宙ビジョン 2050」は、その先に「地球と月の人間社会」が建設されることを想定している。そして、その実現には自然科学や宇宙工学の全面的な展開に加えて、人文・社会科学研究の本格的な取り組みが不可欠になるとする。つまり、全人類が参加することになる「地球と月の人間社会」を実現するには文理を融合した総合的な取り組みが不可欠としている。すなわち、これまでの宇宙開発利用に関する研究の中核である理学・工学・技術開発・医学の分野、近年研究が進む宇宙法・国際政治や宇宙芸術の分野に加えて、思想と理念の構築を担う人文系分野や、人間社会の合理的な建設を担う社会科学系分野の全面的な関わりを必然としている。

現在、NASA が中心となって、2020 年代にも月に再訪する「アルテミス計画」を進められていて、日本も参加を決定した。今春、航空宇宙学会に設置された「宇宙人文・社会科学研究会」では、「アルテミス計画」の先をスコープに入れて活動を行っている。このセッションは、「宇宙の人文・社会科学研究の展望 -地球/月圏での人間社会の構築を目指して-」と題し、本研究会で取り組みつつある検討対象とその先の展望を提示する。